

■トレンド一覧システム

各種テクニカル指標を、各時間軸にて総合的に分析して
トレンドの強さを点数化しています。

色や文字の大きさを変えることも出来ますし、
そもそも、トレンド一覧システムの判定に使っているテクニカル指標の
数値も変更出来てしまうので、柔軟性のあるシステムになっています。

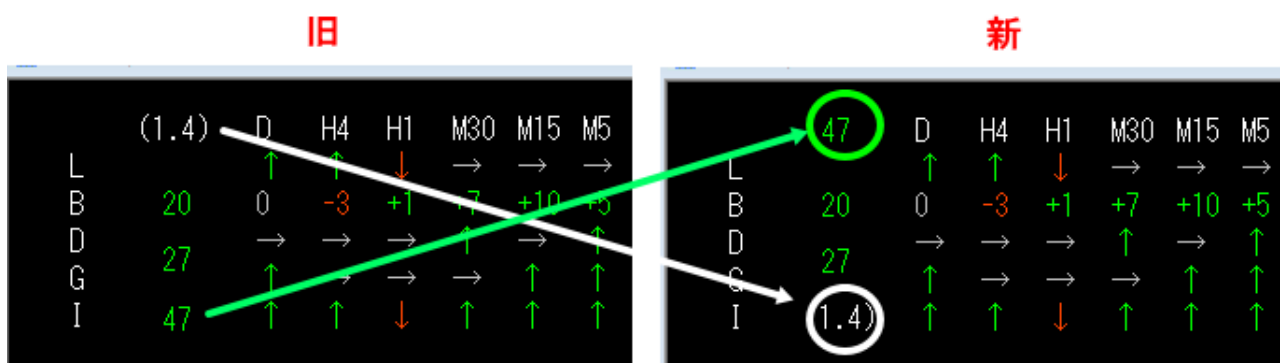
また、マーケティングFXでは日足から5分足までのトレンドを参考にしていますが、
実際には、月足から1分足まで全てのトレンドも表示出来るようになっていました。

初期設定通りできちんと使えますし、カスタマイズも出来る仕組みですが、
そもそも仕組みがわからないと安心して使えないと思うので、
トレンドを点数化している内訳もお伝えします。

なお、初心者の方は意味がわかりづらいかもしれませんが、
点数が高ければ上昇トレンド
点数が低ければ下降トレンド
点数が0に近ければレンジ相場
ということ覚えておくだけで、すぐに実践可能です。

面倒な分析を省略する為にシステムで点数化しているので、
意味がわからずとも利用出来ます。ご安心下さい。

※モニターが小さい場合、左上にスプレッドが表示されると点数が見えにくくなる為、
新バージョンではモニターが小さくても総合の点数が見えやすいように、
並びを逆にしました。



■トレンド一覧システムの点数の仕組み

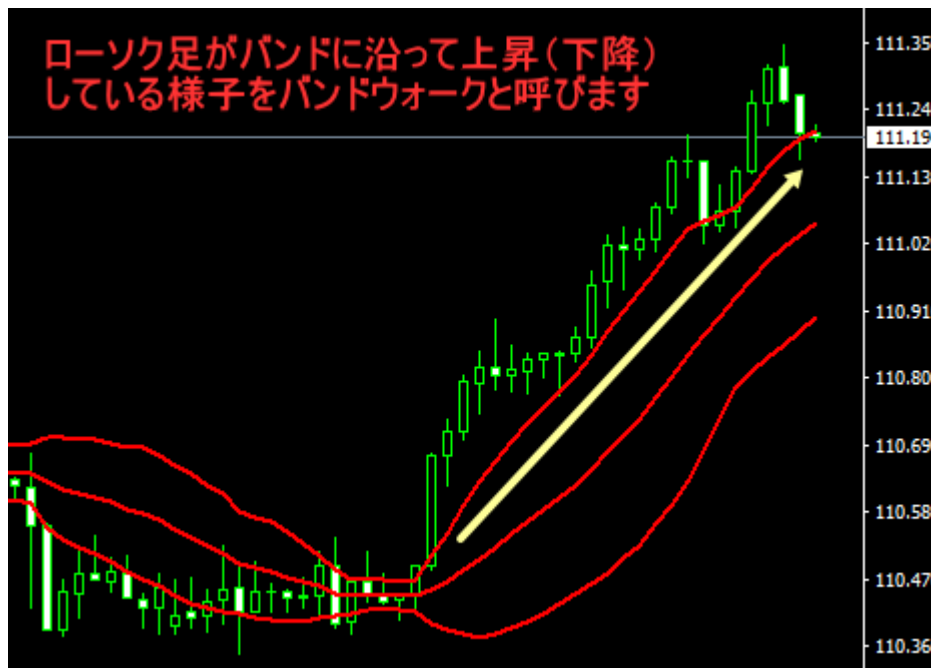
トレンド一覧は、「ボリンジャーバンド」「ダウ理論」「一目均衡表」「GMMA」の指標を参考にトレンドを点数化しています。



・ボリンジャーバンドの判定方法

バンドウォーク状態を点数にしています。

ローソク足が1σ以上を推移した数をそのまま点数に表示しています。



一覧システムの「B」の部分です。

	(1.3)	D	H4	H1	M30	M15	M5
L		↓	↑	↓	↑	↑	↑
B	14	0	0	+5	+11	0	-2
D		→	→	→	→	→	→
G	24	↓	↑	↑	↑	↑	→
I	38	↑	→	↑	↑	↑	↑

この内容としては、

- ・ 1時間足では上昇バンドウォークがローソク足5本分発生している
- ・ 30分足では11本分
- ・ 5分足は-2なので、下降バンドウォークが始まり出したという意味になります。

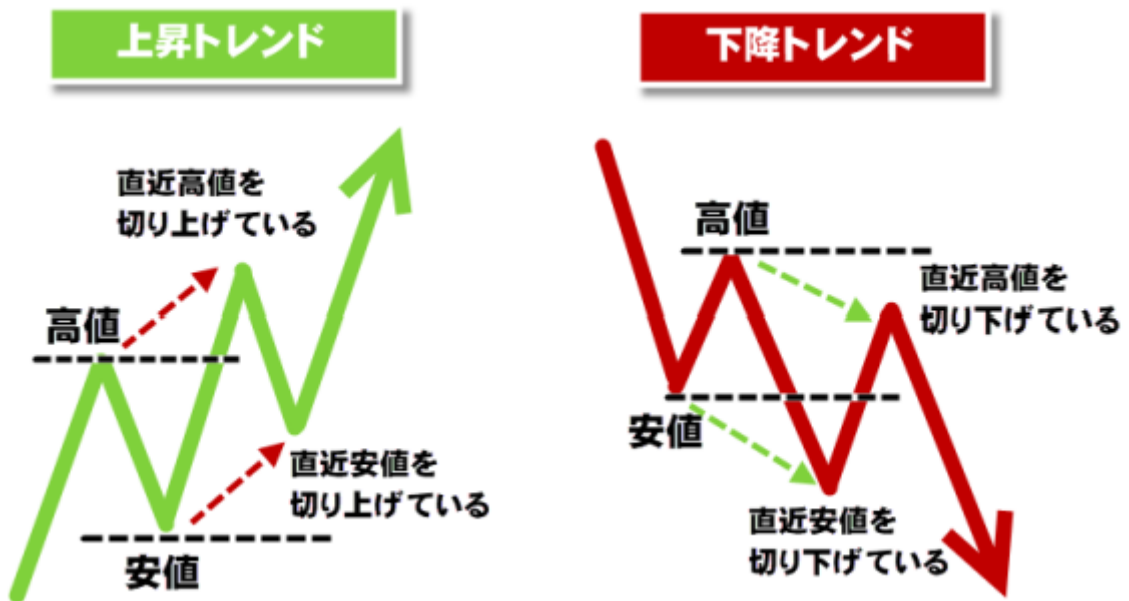
$5 + 11 - 2 =$ バンドウォークの点数は14点と表示されています。

※点数の配分を一律ではなく、日足、4時間足の点数の比重を高くして、15分足、5分足辺りは点数を低くするという案も当然考えられるのですが、そうするとトレンドの崩れがわかりにくくなる

(トレンドは短い足から崩れていく)ことから、あえて、どの時間足の点数も同じにしています。他の指標も同様の考えから、時間足による点数比重は考慮しないものとした。

・ダウ理論

本編でも記載がありました通り、
ダウの上昇、下降判定はこのようになっています。



システムの「D」にあたる部分です。

	(1.4)	D	H4	H1	M30	M15	M5
L		→	→	→	↑	↑	↓
B	18	0	+6	+24	0	0	-1
D	39	↑	↑	↑	→	→	→
G		↑	↑	↑	↑	↑	→
I	57	↑	↑	↑	↑	↑	→

この内容は、日足、4時間足、1時間足は上昇ダウの形で、
30分足以下は、ダウ理論でいえばレンジ相場という意味になります。

試しに1時間足を見てみると、このように上昇ダウの形になっています。

ただし、ローソク足の推移だけで系統的にこのパターンを判別するのは困難なので、Zigzag をベースに判別しています。

直近高値を切り上げている



直近安値を切り上げている

・ GMMA

GMMA は、
 青の移動平均線は 3、5、8、10、12、15
 赤の移動平均線 30、35、40、45、50、60
 で構成されています (EMA)

計 12 本の線が上昇か下降か保ち合いかを教えてくれます。
 視覚的にわかりやすいですね。

この GMMA がパーフェクトオーダー状態の時を点数にしています。
 (線が順番に綺麗に並んでいる時。下図の左側や右側のようなチャートです)



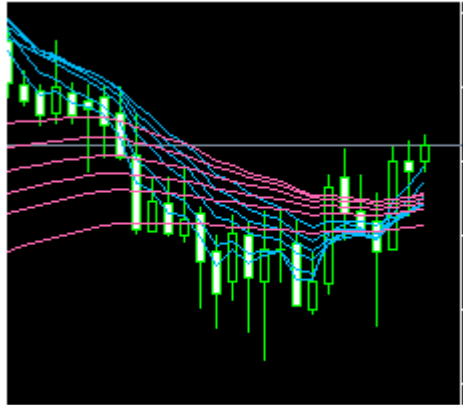
図の左のように、上昇パーフェクトオーダーの時には ↑
 中央のように線が絡み合っている時は →
 右のように 下降 上昇パーフェクトオーダーの時には ↓

と表示されます。

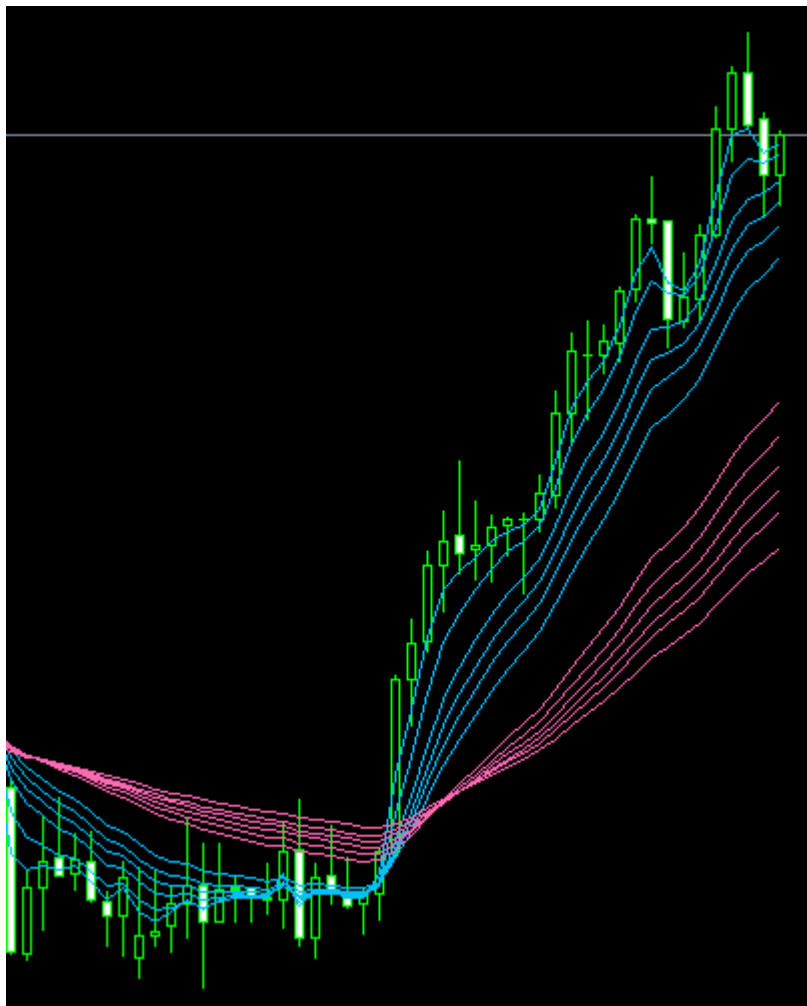
	(1.4)	D	H4	H1	M30	M15	M5
L		→	→	→	↑	↑	↓
B	18	0	+6	+24	0	0	-1
D	33	↑	↑	↑	→	→	→
G	57	↑	↑	↑	↑	↑	→
T		↑	↑	↑	↑	↑	→

この場合だと、日足から 15 分足まで上昇パーフェクトオーダーで、
 5 分足は、GMMA が絡んでいる状態という意味です。

実際のチャートを見てみると、
→ と表示された5分足はこのように線が絡み合っています。



しかし、↑と表示された1時間足を見てみると、
このように、綺麗なパーフェクトオーダー状態です。

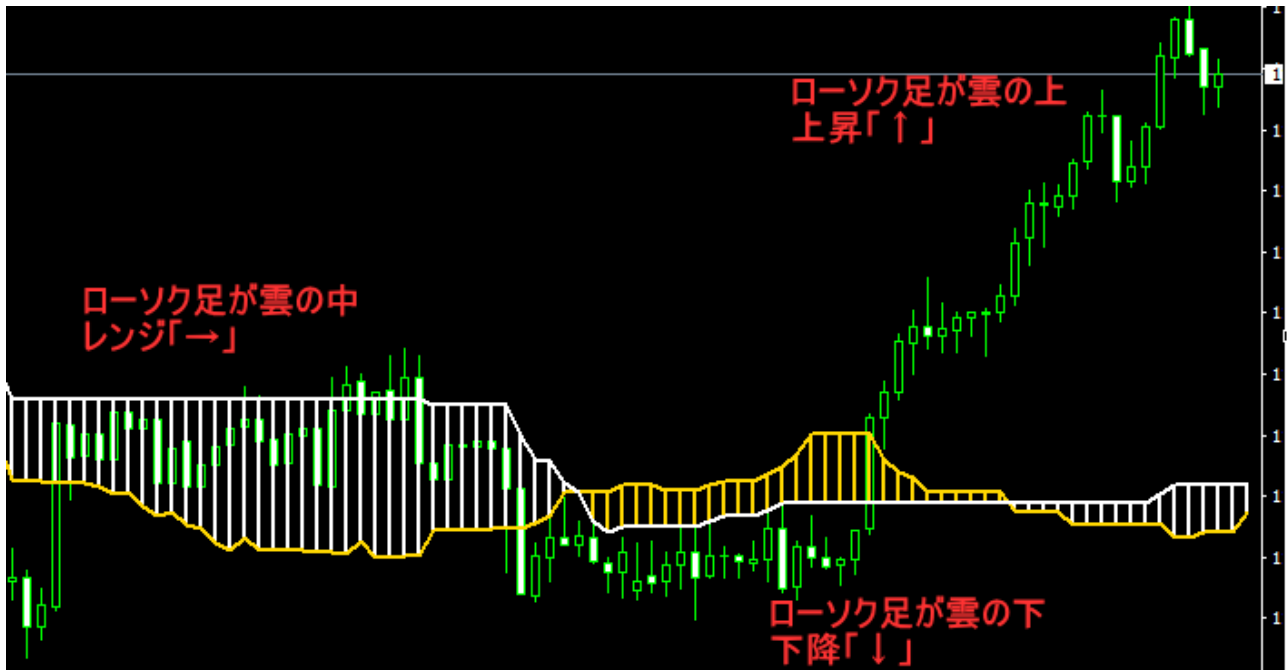


このように、各時間足でのパーフェクトオーダー状態を表しています。

・一目均衡表

一目均衡表は、遅行スパン、基準線、転換線、雲からなる指標ですが、トレンド一覧システムでは、ローソク足が雲の上にあるか、下にあるかで判別しています。

ローソク足が雲の上にあると買い目線（上昇 ↑）
 ローソク足が雲の下にあると売り目線（下降 ↓）
 ローソク足が雲の中にあるとレンジ相場 → という判断になります。



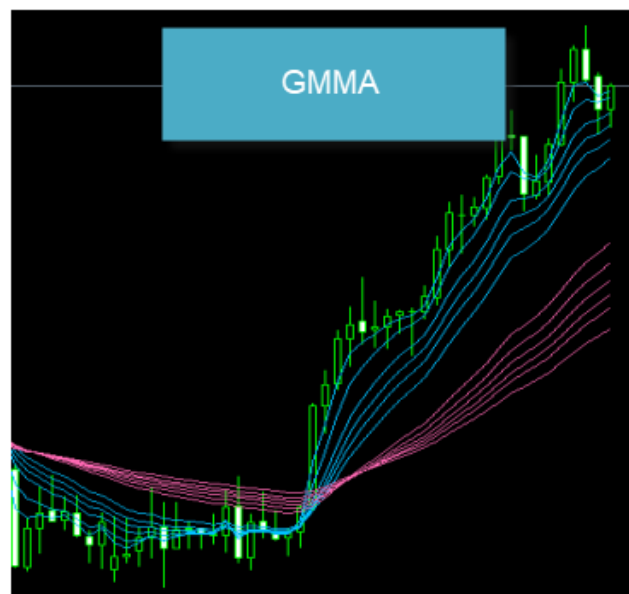
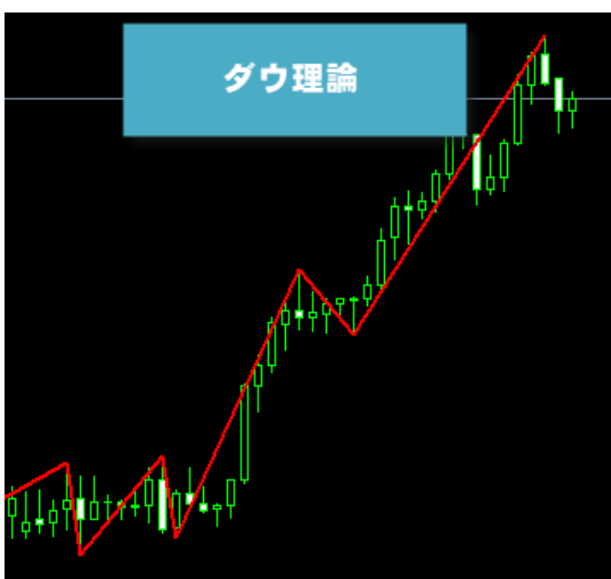
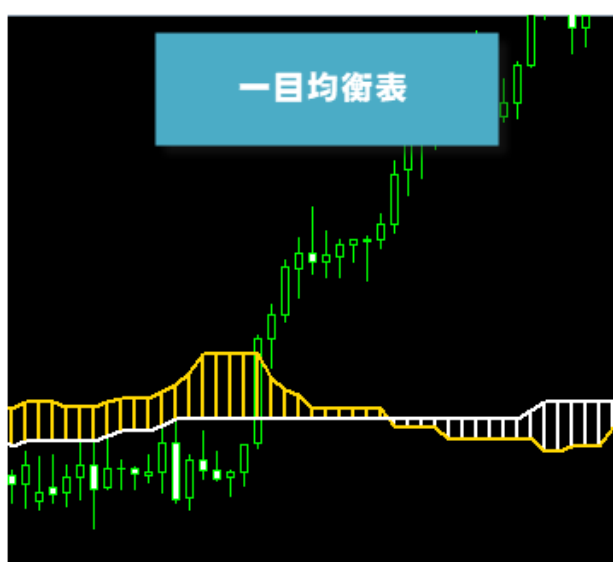
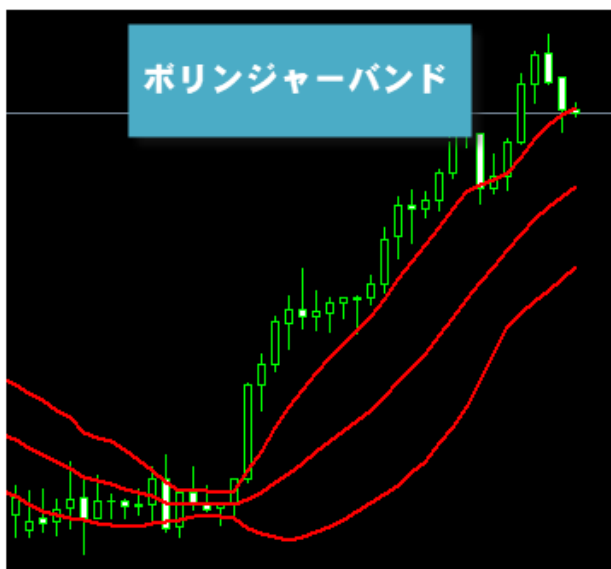
	(1.4)	D	H4	H1	M30	M15	M5
L		→	→	→	↑	↑	↓
B	18	0	+6	+24	0	0	-1
D	39	↑	↑	↑	→	→	→
G		↑	↑	↑	↑	↑	→
I	57	↑	↑	↑	↑	↑	→

この意味は、

日足から15分足まで上昇傾向（ローソク足が雲の上に位置している）
 5分足だけは、ローソク足が雲の中に入っている。

という意味になります。

この分析を日足から5分足までまとめて表示したのが
トレンド一覧システムです。



各時間足のテクニカルの状態をまとめて点数化しているので、
この点数が高ければ、トレンドが出ていると簡単に判断出来ます。

	(1.4)	D	H4	H1	M30	M15	M5
L		→	→	→	↑	↑	↓
B	18	0	+6	+24	0	0	-1
D	39	↑	↑	↑	→	→	→
G		↑	↑	↑	↑	↑	→
I	57	↑	↑	↑	↑	↑	→

■点数の決め方

バンドオークの点数は見た通り+〇点、-〇点を足し引きした点数が表示されています。

$$\begin{array}{cccccc}
 4時間足 & 1時間足 & 30分足 & 15分足 & 5分足 & \\
 -3 & +1 & +7 & +10 & +5 & = 20
 \end{array}$$

	47	D	H4	H1	M30	M15	M5
L		↑	↑	↓	→	→	→
B	20	0	-3	+1	+7	+10	+5
U		→	→	→	↑	→	↑
G	27	↑	→	→	→	↑	↑
I	(1.4)	↑	↑	↓	↑	↑	↑

ダウ、GMMA、一目均衡表は、↑を+3点、↓を-3点、→を0点。で計算しています。

	47	D	H4	H1	M30	M15	M5
L		↑	↑	↓	→	→	→
B	20	0	-3	+1	+7	+10	+5
D	27	→	→	→	↑	→	↑
G		↑	→	→	→	↑	↑
I	(1.4)	↑	↑	↓	↑	↑	↑

これを順番に見ていくと、Dの欄は30分足と5分足が↑なので3点×2=6点
GMMAは↑が3つなので3点×3=9点

一目均衡表は ↑が5つなので3点×5=15点ですが。
↓も1つあるので-3点で計12点という計算になります。

総合すると、6点+9点+12点で=27点
一覧の点数と一致しますね。

結果として、点数の決め方を細かく覚える必要はないので、

- ・総合点数が高ければ上昇トレンド
- ・総合点数が低ければ下降トレンド
- ・総合点数が0に近ければレンジ相場

とだけ覚えておけばマーケティングFXは実践可能です。

全部の点数を足し引きした
総合的なトレンドの点数。
通常はこの点数を見ておけば問題ありません。

バンドウォークの点数を
足し引きした点数

	47	D	H4	H1	M30	M15	M5
L		↑	↑	↓	→	→	→
B	20	0	-3	+1	+7	+10	+5
D		→	→	→	↑	→	↑
G	27	↑	→	→	→	↑	↑
I	(1.4)	↑	↑	↓	↑	↑	↑

ダウ、GMMA、一目均衡表の
点数を足し引きした点数

こんな単純な事で相場の状況がわかるのかと思うでしょうが、
使ってみればその威力を実感して頂けるはずです。
トレンド相場、レンジ相場を見分けるのは一瞬で出来ます。

なお、Lはダウ継続ロジックを実践する時、
ダウ継続前の状態にある通貨を探す時に使用する欄なので、
点数には影響しません。この欄の意味は、販売ページのダウ継続ロジックの項目か、
会員サイトのダウ継続ロジックトレードマニュアルをご確認下さい。

	47	D	H4	H1	M30	M15	M5
L		↑	↑	↓	→	→	→
B	20	0	-3	+1	+7	+10	+5
D		→	→	→	↑	→	↑
G	27	↑	→	→	→	↑	↑
I	(1.4)	↑	↑	↓	↑	↑	↑

■設定パラメーター 一覧

変数	値
 通貨ペア	
 表示位置 (X軸)	10
 表示位置 (Y軸)	15
 MN1 (ON/OFF)	false
 W1 (ON/OFF)	false
 D1 (ON/OFF)	true
 H4 (ON/OFF)	true
 H1 (ON/OFF)	true
 M30 (ON/OFF)	true
 M15 (ON/OFF)	true
 M5 (ON/OFF)	true
 M1 (ON/OFF)	false
 文字色	<input type="checkbox"/> White
 上昇色	<input checked="" type="checkbox"/> Lime
 下降色	<input checked="" type="checkbox"/> OrangeRed
 レンジ色	<input checked="" type="checkbox"/> Silver
 更新色 上昇	<input checked="" type="checkbox"/> Lime
 更新色 下降	<input checked="" type="checkbox"/> OrangeRed
 更新色 レンジ	<input checked="" type="checkbox"/> Silver
 バンドウォーク色 上昇	<input checked="" type="checkbox"/> Lime
 バンドウォーク色 下降	<input checked="" type="checkbox"/> OrangeRed
 バンドウォーク色 レンジ	<input checked="" type="checkbox"/> Silver
 フォントサイズ	12
 ZigZag Depth	5
 ZigZag Deviation	5
 ZigZag Backstep	3
 GMMA Short Method	Exponential
 GMMA Short 1	3
 GMMA Short 2	5
 GMMA Short 3	8
 GMMA Short 4	10
 GMMA Short 5	12
 GMMA Short 6	15
 GMMA Long Method	Exponential
 GMMA Long 1	30
 GMMA Long 2	35
 GMMA Long 3	40
 GMMA Long 4	45
 GMMA Long 5	50
 GMMA Long 6	60
 Ichimoku Tenkan Sen	5
 Ichimoku Kijun Sen	26
 Ichimoku Senkou Span B	52
 BandWalk MA Period	3
 BandWalk MA Method	Exponential
 BandWalk Bands Period	20
 BandWalk Bands Deviation	1.0

特に変更する値はないのでこのままで構いません。
 システムの表示位置を変更したい場合は、X 軸、Y 軸の数値を変更することで、
 表示位置を動かすことができます。

変数	値
通貨ペア	
表示位置 (X軸)	10
表示位置 (Y軸)	15

- ・ どの時間足のトレンドを表示するか選択する










通常は日足から 5 分足までを表示していますが、
 設定次第で、月足から 1 分足まで表示することができます。



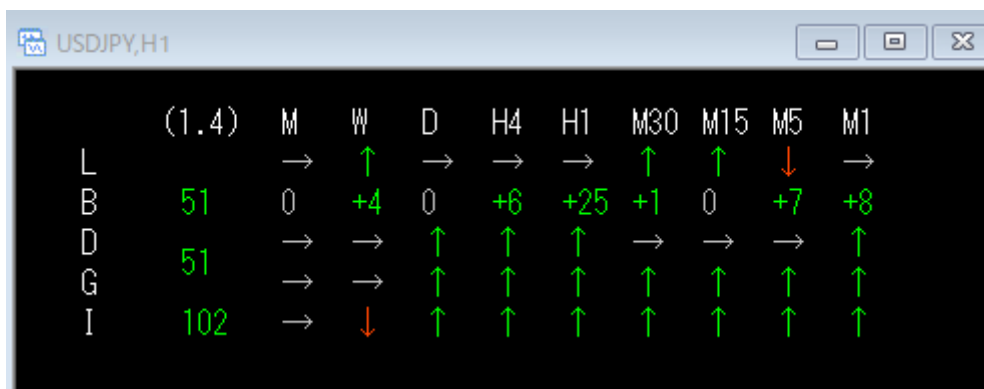
表示したい時間軸を「true」に変更してください。

MN1 (ON/OFF)	false
W1 (ON/OFF)	false
D1 (ON/OFF)	true
H4 (ON/OFF)	true
H1 (ON/OFF)	true
M30 (ON/OFF)	true
M15 (ON/OFF)	true
M5 (ON/OFF)	true
M1 (ON/OFF)	false


全ての項目を「true」に変更すると

 MN1 (ON/OFF)	true
 W1 (ON/OFF)	true
 D1 (ON/OFF)	true
 H4 (ON/OFF)	true
 H1 (ON/OFF)	true
 M30 (ON/OFF)	true
 M15 (ON/OFF)	true
 M5 (ON/OFF)	true
 M1 (ON/OFF)	true

全時間足のトレンドが表示されます。



・文字の色や、矢印の色、大きさを自由に変更出来ます。

 文字色	<input type="checkbox"/> White
 上昇色	<input checked="" type="checkbox"/> Lime
 下降色	<input checked="" type="checkbox"/> OrangeRed
 レンジ色	<input checked="" type="checkbox"/> Silver
 更新色 上昇	<input checked="" type="checkbox"/> Lime
 更新色 下降	<input checked="" type="checkbox"/> OrangeRed
 更新色 レンジ	<input checked="" type="checkbox"/> Silver
 バンドウォーク色 上昇	<input checked="" type="checkbox"/> Lime
 バンドウォーク色 下降	<input checked="" type="checkbox"/> OrangeRed
 バンドウォーク色 レンジ	<input checked="" type="checkbox"/> Silver
 フォントサイズ	12

・テクニカル指標の数値変更

こちらでも数値を変更する必要はないのでこのままにしてください。
中級者以上の方で、テクニカルのパラメーターがわかる方は、
この値を変更すると、矢印が出る設定を変更出来るので自分好みにカスタマイズ
して頂いて構いません。

Zigzag、GMMA、一目均衡表、ボリンジャーバンドの数値を変更出来ます。

123	ZigZag Depth	5
123	ZigZag Deviation	5
123	ZigZag Backstep	3
123	GMMA Short Method	Exponential
123	GMMA Short 1	3
123	GMMA Short 2	5
123	GMMA Short 3	8
123	GMMA Short 4	10
123	GMMA Short 5	12
123	GMMA Short 6	15
123	GMMA Long Method	Exponential
123	GMMA Long 1	30
123	GMMA Long 2	35
123	GMMA Long 3	40
123	GMMA Long 4	45
123	GMMA Long 5	50
123	GMMA Long 6	60
123	Ichimoku Tenkan Sen	5
123	Ichimoku Kijun Sen	26
123	Ichimoku Senkou Span B	52
123	BandWalk MA Period	3
123	BandWalk MA Method	Exponential
123	BandWalk Bands Period	20
123	BandWalk Bands Deviation	1.0

以上がトレンド一覧システムの解説です。

設定は色々ありますが、
特にこだわりがなければ初期設定のままで問題ございません。